

中野区立歴史民俗資料館
中野区江古田四丁目
にある。9時から17時まで
無料で見学できる。

青山豊次・画



健友

第9号 2002年3月10日

発行 医療法人社団健友会 / 健友会友の会
〒164 0001 中野区中野5 44 3
TEL 03 3387 3051
FAX 03 3388 1381
編集 「健友(けんゆう)」編集委員会
ホームページアドレス www.kenyu-kai.or.jp/



ドキュメント
2.14
国民大集会



発言に聞き入る健友会関係の参加者たち

「安全・安心の医療を守ろう! つぶそう! 小泉医療改悪! 2・14国民大集会」が、パレンタインの二月一四日、さいたまスーパーアリーナで開かれました。全国各地から一万五〇〇〇人が参加しましたが、健友会からは職員と友の会員三十一人が七台のバスで参加。政府への怒りをぶつけ、たたかいを誓いました。

たたかいはいまから

健友会関係者311人がバス7台で

さいたまスーパーアリーナに15,000人が

マスコミに電話してみたら:
上高田から参加した小杉みや子さん(63)は前日の二月一三日、朝日・毎日・読売の各新聞社に電話をして「明日、医療改

悪反対の国民大集会が開かれる。マスコミは医療問題を自党内の争いのようにしか報道していないが、こういう集会を取材して、一般国民が医療改悪に反対していることをちゃんと報道してほしい」と訴えました。

反応はいろいろで、朝日は「わかりました。相談します」、毎日には「埼玉版に掲載します」、読売は「(読売新聞の)購読やめるなら、やめていただいで結構」。

参加した辻川寿之さん。そして、北海道の代表は民医連の診療所で働く若い女性でした。集会アピールと行動提起を全員で確認して、集会は終了。

圧倒され、雰囲気は飲まれたような感じ。薄い小豆色のスカーフを首に巻いた健友会の参加者は、結構めだっていました。

辻川寿之さん(70)は、四五年ほど前にタクシー労働者として働いていたころ、交通事故でムチウチ症にあり、以後後遺症に悩まされながら労災職業病、難病関連の運動に身を投じてきました。

共同を広めよう。主催者あいさつ、国会情勢報告、行動提起などのほか、七人の代表がつぎつぎと壇上に立ち、たたかいへの決意を述べました。

壇上で発言した辻川さんは、

患者・家族を代表して発言したのは、なんと健友会のバス(3号車)で

送りましたが、癌を恐れず、プラス思考で乗りきっています。玄関には入院に必要な物が入ったバッグが用意され、献体の手続きも済ませました。「城診を杖として生きていきたい」と笑います。

1月x日、2月13日
「神も仏も味方につけて、医療大改悪とたたかう!」をキャッチフレーズに、川越の喜多院にお参りして集会へ参加しようと呼びかけがはじまると、あれよあれよという間に目標の三〇〇人を突破。バスを増やしたり、お弁当を手配したりと、事務局はうれしい悲鳴でわきました。

杉並から二台のバスが出発。一路、川越へ。徳川家康ゆかりの喜多院で六台のバスが合流し、まずはバスごとに記念写真と参拝に。「小江戸」と呼ばれる川越の町のそぞろ歩きでは、古い町並みに感動し、菓子屋横丁で昔なつかしいお菓子などをおみやげに買い求める姿があちこちで見られました。どの顔も生き生きとして、とてもうれしそうです。

13:00 駐車場が午後から参加のバスと落ち合っている、ソロソロと中へ。どの顔も、三万五〇〇〇人収容できる大きな会場に

2月14日
9:00 中野から四台、

中野区では一月二六日、病・医院 老人クラブ連合会、消費者団体、労働組合、婦人団体などの有志が集まり、医療大改悪に反対する中野区民の会」を結成しました。結成集会には九八人が参加。東京保険医協会の中村洋一医師による「どうなる? どうする? 医療保険制度」と題する講演

「医療大改悪に反対する中野区民の会」結成へ

中野区では一月二六日、病・医院 老人クラブ連合会、消費者団体、労働組合、婦人団体などの有志が集まり、医療大改悪に反対する中野区民の会」を結成しました。

で、医療改悪の問題点について学習し、「会の申し合わせ」と代表委員八人の選出を行いました。「中野区民の会」ではさっそく医療改悪反対の署名用紙をつくり、行動を開始しています。署名は三月中旬まで続けられます。連絡先は中野在宅ケアセンター(電話5318-2265)。

話題のひと

粋な生き方にファンが多い 大竹三千子さん(90)

だれにでも優しいキリスト教徒



「老後は大竹さんのように」——大竹さんの生き方はみんなの憧れの的。三〇年前に夫と死別、その後はマンションで一人暮らし。息子・娘とは友だちのような関係。映画・演劇の鑑賞に読書、

昨年毎日がんセンターに通院する日々を送りましたが、癌を恐れず、プラス思考で乗りきっています。玄関には入院に必要な物が入ったバッグが用意され、献体の手続きも済ませました。「城診を杖として生きていきたい」と笑います。

(城西診療所・江浦孝子)

わたし

2・14国民大集会の日、健友会の一員はまず小江戸・川越散策で英気を養いました。川越の楽しみの一つは羅漢さんたちに出会うこと。喜多院の境内に鎮座する五百羅漢です。喜色満面の顔や無念無想の人、経文に熱中する僧、鼻の穴をほじっている老人もいます。島倉千代子の歌じゃないけれど、人生いろいろ、男もいろいろ、お坊さんだっている。羅漢とは悟りをひらいた修行者だそうですが、この五三八体の羅漢さんたちは、悩みや苦しみも抱えているようです。両手で顔をおおって悲しみに耐えている僧。こつた肩をたいたり、頭痛がするのの後頭部をおさえている人。背中が「う」の字にまがった老僧の姿もあります。喜多院の五百羅漢が造られたのは一八〇〇年ころ。「解体新書」「蘭学事始」なども出版され、やがてシーボルトも来日し、日本で西洋医学が急速に発展し始める時代。でも、医療保険はまだありません。小泉首相の医療大改悪は国民に「痛み」を押しつけるだけ。病気の沙汰も力ネ次第。医療保険制度をぶち壊してしまうのです。羅漢さんたちの「痛み」はひとつではないぞと思えてきました。(よ)

解説

小泉内閣の「医療改革」とは？

あなたの健康はカネ次第か？

健友会組織部次長 加藤 秀大

政府は「長生きするな」と

「年老いてこの苦勞は後を引きます。死んだらバケテ出るぞ！」中野在任の女性から「医療改革反対」ハガキ署名で寄せられた悲痛な声です。

本来、だれもが喜ばれ、尊ばれるべき長寿が、高齢者の人間としての尊厳を奪い、家族の苦しみの対象となったり、

虐待の対象とすらなっているという現実は大です。小泉内閣が一〇月実施をめざす「医療改革」は、まさに「長生きするな」と言わんばかりの改悪内容です。

医療改悪のなかみ 医療改悪の第一の柱は、老人医療の改悪です。窓口上限負担（現行は

六三〇万円以上は二割負担）にしようというものです。病氣や診療の内容によって、いままでもより安くなる方から、いつきに十数倍もの値上げになる方までありますが、全体としてはたいへんな負担増になります。今後は負担割合を増やしていくこともねらっています。四月から実施される一部負担金の値上げは、この先取りといえます。

七〇歳からの高齢者医療制度を、段階的に七五歳から引き上げることにも含まれています。第二の柱は、サラリーマンの三割負担と、保険料の値上げです。これは来年四月から労働者本人の窓口負担を二割から三割にするというもので、現行の一・五倍もの値上げとなります。保険料は年収の八・二％と、大幅な値上げとなります。

健康不安の自殺が増長引く不況と深刻な雇用状況などを苦に、自殺者が後を絶ちません。警察庁のまとめでは、昨年の自殺者は三万一九五七人で、三年連続三万人を超えています。

経済・生活問題が理由の自殺者が二九二七人、とくに五〇歳代の男性が

一五〇人と前年より約一〇％増えています。健康問題が理由の自殺者は三九七七人。前年より四八％増加しています。六〇歳以上の自殺者は一万九百七人で、全体の三四・四％。自殺率はスウェーデンの三倍にもなっています。

健康は権利 憲法25条は「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とし、国の義務を明記しています。政府の医療改悪案は、この憲法を否定するものです。政府は、昨年一〇月より国保料滞納者への制裁を強めるよう自治体に迫り、資格証明書を発行させていますが、これこそ憲法違反といえるべきです。

「どこを向いても増税、値上げ、こんな政治なら誰でもできる。こんな日本にした張本人、政治家たちはどんな痛みに耐えているのか！それが知りたい」（杉並区在住・男性）

世界一高い薬価にメスを入れたり、無駄な公共投資をやめれば、財源は十分にありま。予防や初期治療に力を注げば、総医療費を抑えることも可能です。

国民の怒りは頂点に達しています。昨年から私たちの運動が、日本医師会や日本労働組合総連合会を運動に立ち上げさせ、一〇〇万の署名を国会開催前に提出するなどの成果を積み上げてきました。

「医療改革」はまだ決まったわけではありませんが、改悪反対の運動をいっそう広げ、廃案にさせましょう。



加藤秀大氏

知りたい

聞きたい

学びたい

健友会が加盟している「全日本民主医療機関連合会（略称：全日本民医連）」は、2年に1度総会を開きます。ことし2月21～23日には、第35回総会が福岡県・北九州市で開催されました。この総会には健友会からも8人の職員が参加しています。満場一致で採択された運動方針は、今後2年間の私たち健友会と友の会の運動の方向や課題を示すものとして、たいへん重要なものです。

【第35回総会の意義】

- (1) 今日の時代をどう見るかを明らかにし、民医連の原点である患者さんの生存権や受療権を守るたたかいを発展させること。(2) 民医連と共同組織が、もっとも地域に根ざしてまちづくりにとりくむこと。(3) 民医連の病院・診療所の存在意義を明らかにして、21世紀初頭にふさわしい民医連運動をすすめること。

これから2年、私たちはなにをなすべきか？

全日本民医連第35回総会から

【運動方針のポイント】

第1章「この2年間の主なとりくみと課題」

〈到達点〉①人権を守る医療、共同の営みとしての医療という点では、安全・安心・信頼の医療をめざすとりくみ、介護・福祉分野の活動が大きく前進しました。②社会保障のとりくみでは、医療関係団体の共同のとりくみが発展しました。③昨年秋からの「大運動」では、医療改悪阻止に向けての連帯と共同の輪が大きく広がり、共同組織が18万人増え、300万人近くまで飛躍的に前進しました。

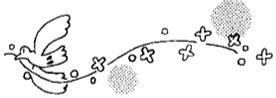
〈克服すべき弱点と課題〉①医療・経営構造の転換を急ぐ必要があること、②医師確保と養成の課題で、いまだ壁をうち破れないでいること、③加盟院所・施設数や職員数が大きくなる中で、民医連組織の運営の改善・改革が必要になってきたこと。

第2章「今日の情勢の特徴と新しい平和・福祉の国づくりをめざして」

今日の情勢の最大の特徴は、医療・社会保障の未曾有の大改悪が行われようとしていることです。政府は2002年から2004年までの3年間を「医療改革集中期間」と設定し、2003年には介護保険の見直し、2004年には年金制度のさらなる改悪をねらっています。日本の社会保障の歴史の中で、短期間でこれほどの抜本的な改悪が行われるのははじめてです。たたかいは長期にわたります。幅広い地域の人々と連帯と共同の輪をいっそう広げ、共同組織を量的にも質的にも強化することがだいじです。そして、さまざまな痛みや怒りを出し合い、要求実現やたたかいに発展させることです。

第3章「今後2年間の基本的立場と重点課題」

①2003年6月7日、全日本民医連は創立50周年を迎えます。民医連がもっとも重視すべき点は無差別・平等の医療を追求し続けることです。②共同組織とともに、平和と人権と民主主義の日本を築いていくこと、人権を守る立場で医療や介護・福祉活動にとりくむことです。③前回総会が提起した四つのキーワード（「人権と非営利」「より開かれた民医連」「社会的使命と主体性・民主性」「連帯と協同」）をより実践的に発展させることです。④「より開かれた民医連」の立場で、みずからの院所・施設の役割を問い直す「医療・福祉宣言」をつくり、院所の存在意義と姿勢や目標、職員の生きがいをしめすことです。



病院診療所



友の会



一人暮らしの会が3年目

中野共立病院診療所友の会

中野共立友の会の一人世帯の会「吾亦紅（われもこう）」は三年目を迎えました。一月の例会は新年会で歌や踊りを楽しみ、二月例会は小泉医療改悪の学習をしました。三月はビデオを観て病気の勉強、四月は花見を予定しています。



会では、食事やお茶をしながら一月の近況を出し合い、友だちを誘いたくなる会になってきています。

死ねといつか、医療改悪！

江古田沼袋診療所友の会

一月三日（水）、沼袋友の会では医療改悪についての学習会を行いました。参加者は一七名（職員一名）。尾藤事務局長が講師を務めました。改革内容の話一つ説明するたびに、参加者の反応はすごいものでした。「小泉さんはひどすぎる。老人に死ねといつか」「自己負担がこんなにも上がるなんて、今回の医療改革はひどい」「自殺なども考えたりしたが、家族に迷惑がかかると思い、やめた。これで医療にもお金がないとかかれないのならどうすればいいの？」など、切実な声が多く寄せられました。存分に意見交流ができた学習会でした。

仲間増やし訪問行動へ

城西診療所友の会

城西友の会では二月三〇日（水）の午後、役員と職員と一緒に仲間増やしの患者訪問をしました。

共立友の会のとおりくみを参考に、事前に友の会への入会を訴えた手紙を、医療改悪反対の署名を添えて送っておいてから訪問したのですが、一九軒訪問して一〇世帯三名が入会とたいへん好評でした。中には申込書と署名を用意して待っていてくれたお宅もありました。

新年会に58人が

やまと診療所友の会

やまと診療所友の会では二月二日（土）午後、大和地域センターで新年会を開きました。参加者は五八人。会場はほぼ満席となりました。

第一部は、前都議の植木こうじ氏と健友会専務の末廣進氏からあいさつと医療情勢の話があり、第二部は余興。合間には、副会長・杉本光子さんお手製の甘酒が振る舞われ、みんなほろ酔い気分。津軽三味線小山流の方たちによる演奏と踊りは軽妙で切れがよく、一緒に歌い出す方もいました。会員によるしなやかな踊り、年を感じさせないほど元気いっぱい、「やすらぎ会」の歌を楽しみました。

20キロの餅つき

桜山診療所友の会

桜山診療所友の会では二月三日、餅つきを行いました。天気めぐまれ、二〇キログラムの餅ができました。



白は中野共立病院労働婦人部から、せいろなどは東京などから拝借。また、プロパンガスは沼袋からお借りしたもので、地域の仲間感謝あるのみです。

新春のついでに

川島診療所友の会

かわしん友の会では二月六日（水）、氷川神社事務所新春のついでを開きました。手話ダンスサークルのダンス、会員の踊りの披露で楽しみました。コーラスサークルの方と一緒に、「春の小川」「早春賦」を全員合唱しました。最後に、川島診療所の職員全員で、染谷事務長の振り付け指導のもと、踊りました。

「薬害ヤコブ」解決まであと一歩

薬害ヤコブ病の学習会と音楽のつどい



中野共立診療所2階待合室で

二月一六日に「薬害ヤコブ病の学習会と音楽のつどい」が中野共立診療所の二階待合室で行われ、患者、医療スタッフ、看護学生など三〇名以上が参加しました。

中野在住の原告・吉村さんは奥さんの発症について語り、亡くなった時に葬儀屋から受けた差別なども話されました。洲上弁護士は「ハンセン病のとき、厚労大臣が控訴しないという決断を下せたのは世論の高まりがあったから。ヤコブの解決にも世論の高まりが必要です」と訴えました。

学習会の合間には演奏の時間が設けられ、トランプの軽やかな演奏や歌があり、楽しい時間を過ごすことができたと思われています。

西荻窪診療所の患者さん

んからは、「命を大切にしない政治の構造を変えなければ、運動が必要だ」との感想が寄せられました。

安全、安楽、安心めざし

共立グループが看護研

二月五日、中野共立病院グループの第一六回看護研究発表会が開かれました。

当日の参加者は医師や友の会の方、他の病院の看護婦さんたちも含め九五名にのぼり、活発な発表と討論が行われました。

今回のスローガンは、「今求められている看護—スリー安—安全、安

を図ろうとしています。こうした中で、二月二日には裁判所から「国は全被害者を救済するべき」という和解案が示されました。

もう一歩です！ 国に薬害を繰り返させないために、この問題を最後まで支援していくことが大切だと思います。(西荻みなみ薬局・大原佐和子)

「安心して安心」。医療事故防止、看護技術の向上をめざし、患者も職員も安全で、安心して過ごせるようにという願いが込められています。

看護を振り返り、よりよい看護をめざす中で看護研究にとりくんでまいりましたが、その成果が「つぎ」と発表され、参加者の関心を集めました。診療所や訪問看護ステーションからの発表もあり、全体として大きくレベルアップしてきていることが確認されました。

医療改悪反対で昼休みデモ

二月二〇日午後一時、二時、健友会の病院・診療所の職員と友の会員ら

約八〇人が、医療大改悪に反対する地域デモを行いました。大きな声でのシュプレヒコールに沿道の人たちはびっくり、がらばって！」の声援も。

医療の知識

狂牛病問題は、食品の安全管理に大きな不安を与えました。最近では雪印不正事件にまで発展し、社会的な混乱が続いています。

私たちが日常使用している医薬品や化粧品原料にも、牛や羊が使われています。

健友会薬事委員会は毎月一回会議を開き、医薬品の有効性・安全性・経



平林政子さん

狂牛病と薬の話

—薬の入れ替えをしています

中野共立病院 薬剤師 平林 政子

「毒を制す」とか「もろ刃のやいば」とか申しますが、その害を使い方で制御する必要があります。牛や羊など生体の一部を原料にした薬は、当然未知のリスクがありま

者を出しました。製薬企業や行政には、こうした薬害が起こらないように医薬品の安全管理を行う重大な責任があります。ところが、一連の狂牛病問題での厚生労働省の

対応はまたまた遅れ、国内産の牛や羊などの反芻動物の規制方針を出したのは、一九九六年にイギリスで狂牛病とヤコブ病との関連が発表されたあとです。問題視されていた肉骨粉の使用は最近まで放置されてきました。

規制方針が出されて以後、医薬品の原料となる牛原産国の変更や、よりリスクの低い臓器への変更、豚や植物を使ったものへの変更など、製品の変更や回収が続いています。製造中止となったものもあります。

医薬品を安全に提供するためには、どうしても薬害根絶の運動が欠かせません。

紹介します

西荻みなみ薬局の巻

西荻みなみ薬局が開局してもうすぐ四年

確かな情報伝える

努力を...

現在のメンバーは、薬局長の竹野(男性・薬剤師歴18年)、大原(女性・薬剤師歴2年)、小嶺(女性・薬剤師歴1年)、鈴木(女性・地元在住のベ

てきてくだサル。そこで、「上手な西荻みなみ薬局の利用法」をみなさんにお教えしましょう。

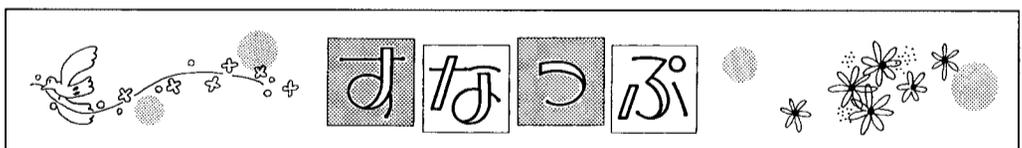
①「見る」...薬局に入ったら、まず見渡して下さ

②「言う」...「意見・疑問、なんでも言うて下さい。薬のこと、薬局へのご意見、医療制度への不満・疑問、などなど。言うことは、治療にもよい結果を生み出します。



まん中が竹野薬局長、左・大原薬剤師、右・小嶺薬剤師

(薬局長・竹野和弘)



を披露しました。参加者の感想では、「広瀬先生が一番踊りが上手で、楽しませてくれた」「ほんとうに楽しかった。毎月やってほしい」という声があがっています。

西荻の住宅を訪ねて2カ月

昨年一月から、西荻診療所の会では「地域ベタ訪問行動」を行って

署名活動を行いました。参加した役員さんは、山本芳郎さん、小川育子さん、大山正一さんの三人。その日は藤井所長の診察日で、六〇人近くの患者さんで待合室はいっぱい。今回はすでに入会済みという方が多く入会者は一名でしたが、山本副会長の医療改悪反対の訴えに大勢の方が署名してくれました。役員さんたちの感想は、「待合室での勧誘はなかなかむずかしい」「静かにしてほしいと思われた方もいらしたかも...」。

もちつき大会雨にも負けず

—桃井診療所

あいにくの雨となった二月三日(日)、桃井診療所の「新春もちつき大会」が待合室を会場に元気よく行われました。「雨でも来られるだろう」と心配する声もよそに、友の会員さんや近隣の社宅に住む子どもつれの若いパパ、ママが大勢集まり、二五キロ用意したもち米は、アツという間にお腹の中や買い物カゴの中に消えていきました。

役員さんが初の待合室行動に

二月二五日の午前中、天沼診療所の役員さんたちが診療所待合室で、友の会入会のお誘いと医療改悪反対の

ことは伊藤所長を先頭にほとんどの職員が参加し、「ご苦労さん会」では友の会員さんとの交流も大いにすすみ、なごやかな雰囲気の中にも医療改悪を許さない決意を固めました。

連載まんが 第5回



ドクターの素顔

ある大学に在学中、「医師になる」と一念発起。弘前大学医学部に入り直して医師になつた安藤医師。やまと診療所の所長になつて、現在九年目です。専門は内科、とくに循環器(心臓疾患、血圧)。心電図の少しの乱れも見逃さず、波形に異常があるときれいに磨かれた眼鏡の奥の瞳がキラリと光り、即治療を開始します。診療では必ずきびしい体重チェックが入ります。体重が重いといふ臓に負担がかかり、血圧が上がるし、膝痛や腰痛の原因にもなるからですが、診察室にいる看護婦には耳が痛い。安藤医師自身、学生時代一〇〇キロ超級だったのを、ダイエットをして現在の体型にしたのだそう、「やればできる」が口癖。

ダイエットの専門家? きれい好きで料理好き

やまと診療所 所長 安藤博之医師(47)



(でも、太つていたときの写真は絶対に見せたくれません) 安藤医師の趣味は、なんと料理。得意料理は揚げ物で、カラッと上手に揚げられるそう。テレビの料理番組をチエックし、雑誌のおいしいそうなレシピを

切り抜いたり、そうとうなマニアです。もう一つの趣味は、風呂上がりの一杯と野球観戦。巨人ファンですが、カラオケの十八番はなぜか「六甲おろし」です。シーズン中は巨人ファンの仲間と東京ドーム通い。メガフォン片手に、大声で叫んでいる安藤医師なんて、想像できますか? でも、いつ緊急連絡が入ってもいいように、携帯電話を忘れることはありません。A型で、ことし年男。きれい好きで、いつも整理整頓している安藤医師。スタッフが出しっぱなしのものまできちんと片づけてくれます。毎日、ホントにスミマセン。(やまと診療所看護婦・藤本優子)

短歌

中野区弥生町 塩原 美恵子(78)

月一度の 独り居びとの 食事会
ちゃぶ台 囲む 家族のことし

彩りも 味も 香りも 淡白な
食膳につき 心 安らぐ

食事も 「食は生命」と 心得て
選ばれし食材 行き届く調理

坊主頭の快感

天沼診療所事務長 高原照夫

特別な理由があつたわけではない。年ごとに薄くなつていく前頭部分のさびしさを補強するにも限界がきたので、全体に広げてやつたまでの話なのだが、まわりの反応はさまざまであつた。床屋さんで「坊主にして下さい」と言ったら、「ほんとうにいいんですか?」と何度も聞かれた。予告なしで突然坊主頭にしたものだから、家族からもヒンシュクをかってしまった。

昨年、中学校以来実に三〇年ぶりで坊主頭にした。特別な理由があつたわけではない。年ごとに薄くなつていく前頭部分のさびしさを補強するにも限界がきたので、全体に広げてやつたまでの話なのだが、まわりの反応はさまざまであつた。床屋さんで「坊主にして下さい」と言ったら、「ほんとうにいいんですか?」と何度も聞かれた。予告なしで突然坊主頭にしたものだから、家族からもヒンシュクをかってしまった。

洗髪が実に簡単で、リンスなどは不要、もちろんドライヤーも必要なし、朝起きても寝癖などとは無縁となつた。難点は頭が寒いという

性諸君、一度お試し下さい。結構はまりますよ。

白鳥に逢いに

桜山友の会 福土リツ(78)

青森市の手前、浅虫温泉の近くの海に、冬、シベリアから白鳥が幼鳥をつれてやって来る。二月に青森に行つたついでに、白鳥に逢いに行つた。

白鳥が来るその岸辺は、小湊の浅所海岸という河口近くで、しじみがある。 やつこの思いで白鳥の岸辺にたどり着くと、「クツウ、クツウ」とにぎやかな鳴き声が聞こえてきた。三百羽もいるだろう。全身真っ白な親鳥と、まだ灰色の幼鳥が混じつて、餌を撒く人々のそばに寄つてくる。私も一袋撒いた。



読者のひろば

「読者のひろば」ではみなさんからの投稿(手紙、随筆、絵、書、写真など)をお待ちしています。

ことと、二週間ごとにバリカンをあてなければならぬというところである。市販されている電動バリカンは掃除機に直結させて、刈り上げながら吸い取ってくれるので、散髪後の掃除はいらない。高校生のわが息子は、私の頭にバリカンを入れるのがおもしろいらしく、散髪を頼むと快く引き受けてくれるので、床屋とも無縁となつた。軍国主義を復活させるような国民総坊主頭には賛成できないが、とくに頭髪のさびしくなつた男

とれる浅瀬である。小さな島があり、そこにこんもりとした社と森があつて、ちよつとした憩いの場所ともなつている。そこへ行くためには野辺地駅で下車し、ローカル線に乗り換えて小湊駅まで行くか、バスに乗らなければならない。

健友会にいます

健友会組織部長 加藤秀大

一〇年間お世話になつた桃井診療所を離れ、ことし一月から中野にある健友会事務局で、社会保

障や友の会を援助する組織部の仕事をしています。初任事が「2・14国民大集会」の事務局長でした。 中野共立病院に來られる時は、ぜひお立ち寄りください。

中野坂上地区はこの数年、上を下への大騒ぎです。市街地再開発事業によって、高層ビルが建ち並び、西新宿の続きに見えます。山手通りの拡幅工事、地下を通る首都高速中央環状線の工事とが入り交じつて進められているからです。高速道路の下には自転車が二〇〇台も入る駐輪場があり、またその下には地下三五メートルの深さに都営地下鉄大江戸線が通つています。青梅街道と山手通りが交差する坂上地区は、古くから交通の要

中野よもやまばなし

中野区中野5丁目 飯島 登

「中野坂上地区(1)」

所です。江戸城開城に合わせて、城や住宅の建設のために必要な石灰や農産物を多摩郡青梅地区から運ぶために、青梅街道が開かれたのです。(一六〇〇年ごろ)

坂上から中野坂を下

りと、区界の神田川に時代に取り残されたように古いよもやまばなしかかっています。徳川三代將軍家光が鷹狩りに出たときに、京都の地名にならえて「淀橋」と唱えよと命じた話が伝えられています。(中野町史) その後、街道沿いにぬきや(麦やそばの皮をむく職)が軒をつらね、江戸市内のそばの原料の大半は中野宿から供給されました。さらに製粉工場や味噌・醤油の工場が坂上の近くにたくさんできました。「株」あぶまた「さんは本町三丁目です。まも味噌を造つています。 明治の小説家国木田独歩が「武蔵野」の中で中野の地名をあげていますが、当時はこの辺も落葉樹林が広がっていたのでしよう。 坂上の南方に位置する本郷村、雑色村は甲武鉄道の敷設案が示されたときに、「鉄道が通ると水路や田畑が壊れる」として、反対の請願を会社に提出しました。(一八八五年) その後、現在の中央線が敷かれたのです。

開発一点張りの今日、この話は笑いぐさにはできない現実味を帯びていると思うのですが、(健友会友の会長)



新宿のような超高層ビル群。道路は延々と工事が...